

第8章 植物・動物

8.1 注目すべき動植物類に関する住民等からの情報

8.1.1 情報受付方法

広報かみいな（特別編 第40号 平成23年6月）及び広域連合ホームページに以下の記事を掲載し、住民等に情報提供を呼びかけた。

広報 **かみいな** 別冊 ごみ処理及びごみ処理施設関係

新ごみ中間処理施設建設に係る環境影響評価の現地調査を平成23年6月1日から行っています。

環境影響評価は長野県環境影響評価条例に基づき方法書を作成して現況調査を行います。最終候補地周辺の動植物の影響について予測を行うため「注目すべき動植物類に関する確実な情報」がありましたら次のとおりご提出ください。（対象となる動植物については上伊那広域連合が作成した方法書のとおりです。）

■ ご提出いただく情報の内容

1 情報提供者について

- (1) ご連絡先氏名
- (2) ご住所
- (3) E-mail
- (4) お電話番号

2 動植物の情報について

- (1) 種名（上伊那広域連合が作成した方法書に記載のある種）
- (2) 確認日時
- (3) 確認個体数
- (4) 確認場所（右の図の対象範囲内に限ります）
- (5) 確認場所の詳細（水田・水路等）
- (6) 写真
 - ア 種の特定ができるもの
 - イ 情報対象範囲が確認できるもの

■ 対象範囲



----- 最終候補地周辺の200mの範囲
 ———— 種の保存法に指定されている猛禽類（オオタカ、クマタカ、イヌワシ、ハヤブサ）営巣の範囲

ご提出方法

①上記情報の内容を全て記載して任意の様式にて提出
 ②上伊那広域連合ホームページ様式第1号で提出
 ※①、②いずれかの方法で下記の問い合わせ先までご持参いただくか、電子メール、郵送にてご提出ください。
 ※ご提出には、上記情報の内容を全てご記入ください。
 ※提出期限は、平成24年5月末日(必着)までとなります。

確認体制

ご提出いただきました注目すべき動植物に関する情報は、情報提供者にお問い合わせをさせていただくことがあります。必要に応じて環境影響評価の現地調査を行い、専門家・関係機関に意見を伺うなどして環境影響評価に反映していきます。希少動植物の保護に関する情報の公表はいたしません。

8.1.2 情報提供の結果

情報提供があった動植物類は以下のとおりであった。

植物	なし
動物	カヤネズミ、ノスリ、ヤマセミ、カワセミ、ホタル、イナゴ類

8.2 植物群落調査結果

植物群落調査結果を表 8.2-1 に示す。

表 8.2-1(1) コゴメヤナギ群落 群落組成調査票

No. 1 コゴメヤナギ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	10	14

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	10×20m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	16	16
	植被率(%)	90	75
亜高木層 (T2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—
低木層 (S)	高さ(m)	2	2.2
	植被率(%)	1	1
草本層 (H)	高さ(m)	1	1
	植被率(%)	100	100

■各層の生育種

高木層 (T1)	コゴメヤナギ	5・5	4・4
	クズ	+	+
低木層 (S)	ススキ	+・2	+・2
	ツルヨシ	+・2	+・2
	ハリエンジュ	+	+
	マタタビ	・	+
草本層 (H)	スイカズラ	3・3	3・3
	コセンダングサ	3・3	3・3
	ヘクソカズラ	3・3	3・3
	ヨモギ	2・2	1・2
	カキドオシ	2・2	1・2
	オヤブシラミ	+・2	+
	ヒメジョオン	+・2	+
	コアカソ	+・2	+・2
	ヒメムカシヨモギ	+	+
	シロツメクサ	+	+
	アメリカセンダングサ	+	・
	キクムグラ	+	・
	ヌルデ	+	+
	シロバナシナガワハギ	+	・
	ツルウメモドキ	+	+
	ノブドウ	+	・
	ヤマウグイスカグラ	+	+
	ヤマグワ	+	+
	ナワシロイチゴ	+	・
	オオブタクサ	+	+
	メマツヨイグサ	+	+
	オニグルミ	+	+
	イタドリ	+	+
	カナムグラ	+	+
	ノイバラ	+	+
	アカマツ	+	+
	オオバコ	+	・
	ヤマザクラ	+	・
	ムラサキツメクサ	+	・
	クズ	+	+
	ムラサキシキブ	+	+
	エノキ	+	+
オオキンケイギク	+	+	
ヨウリナ	+	+	
セイヨウタンポポ	+	+	
エゾエノキ	+	+	
イネ科の一種	・	2・2	
アキノエノコログサ	・	+・2	
フキ	・	+	
ツユクサ	・	+	
ヤブカンゾウ	・	+	
ヤクシソウ	・	+	
カワラヨモギ	・	+	
ヤハズエンドウ	・	+	
アケビ	・	+	

■出現種数

40

43



表 8.2-1(2) オニグルミ群落 群落組成調査票

No. 14 オニグルミ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コードラートの諸元

地形	斜面中部
方位	N15E
傾斜	30°
面積	10×10m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	12	12
	植被率(%)	70	60
亜高木層 (T2)	高さ(m)	8	8
	植被率(%)	40	40
低木層 (S)	高さ(m)	3	3
	植被率(%)	70	70
草本層 (H)	高さ(m)	1	1
	植被率(%)	30	30

■各層の生育種

高木層 (T1)	オニグルミ	4・4	4・3
亜高木層 (T2)	ケケンボナシ	3・3	3・3
低木層 (S)	アブラチャン	3・3	3・3
	ケケンボナシ	2・2	2・2
	バйкаウツギ	2・2	2・2
	オニグルミ	1・1	1・1
	ミツバウツギ	+	+
	アケビ	+	・
	ヤマブキ	+	+
	サンショウ	+	+
	ツリバナ	+	・
	ハナイカダ	+	・
	イボタノキ	+	+
	草本層 (H)	ミヤコザサ	1・2
フキ		+	+
アマチャヅル		+	+
ミズヒキ		+	+
アブラチャン		+	+
マタタビ		+	+
クマワラビ		+	+
ウバユリ		+	+
サンショウ		+	+
ダイコンソウ		+	+
イヌワラビ		+	+
エゾエノキ		+	+
ヤマジノホトギス		+	・
マムシグサ		+	+
アケビ		+	+
オニグルミ		+	・
ヤマカシユウ		+	+
ウマノミツバ		+	+
ウシハコベ		+	・
アオミス		+	・
クマヤナギ		+	+
ミツバアケビ		+	+
ヌギ		+	+
サワギク		+	+
ツリフネソウ		+	+
キツリフネ		+	・
ソルニンジン		+	・
ハナタデ		・	+

■出現種数

36 29



表 8.2-1(3) コナラ群落 群落組成調査票

No. 19 コナラ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	斜面中部
方位	S15W
傾斜	10°
面積	10×20m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	16	16
	植被率(%)	70	50
亜高木層 (T2)	高さ(m)	8	8
	植被率(%)	70	50
低木層 (S)	高さ(m)	2.5	2.5
	植被率(%)	30	30
草本層 (H)	高さ(m)	0.7	0.7
	植被率(%)	10	10

■各層の生育種

高木層 (T1)	コナラ	3・3	3・3
	ヤマザクラ	2・2	1・1
	ホオノキ	1・1	1・1
亜高木層 (T2)	アブラチャン	3・3	2・2
	アオハダ	1・1	1・1
	エゴノキ	1・1	1・1
	ウワミズザクラ	1・1	+
低木層 (S)	コアジサイ	2・2	2・2
	ソヨゴ	1・1	1・1
	コブシ	1・1	1・1
	ネジキ	1・1	1・1
	ツノハシバミ	1・1	1・1
	アオハダ	+	+
	ケヤキ	・	+
	ミヤコザサ	+	+
草本層 (H)	ケヤキ	+	+
	フジ	+	+
	ボタンヅル	+	・
	ノイバラ	+	+
	ヤマカシユウ	+	+
	タガネソウ	+	+
	ミツバアケビ	+	+
	ウツギ	+	+
	ゴヨウアケビ	+	+
	クリ	+	+
	エゴノキ	+	+
	ヤマウグイスカグラ	+	・
	ヤマウルシ	+	・
	ツタ	+	・
	コアジサイ	+	+
	ウリカエデ	+	+
	コバノガマズミ	+	+
	マユミ	+	+
	ハエドクソウ	+	+
	サルトリイバラ	+	+
	アケビ	+	+
	サンショウ	+	+

■出現種数

33 29



表 8.2-1(4) クヌギ群落 群落組成調査票

No. 16 クヌギ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	斜面中部
方位	S45W
傾斜	15°
面積	20×20m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	14	14
	植被率(%)	90	90
亜高木層 (T2)	高さ(m)	10	10
	植被率(%)	20	20
低木層 (S)	高さ(m)	3.5	3.5
	植被率(%)	80	80
草本層 (H)	高さ(m)	0.8	0.8
	植被率(%)	10	10

■各層の生育種

高木層 (T1)	クヌギ	4・4	4・4	
	コナラ	1・1	1・1	
	オニグルミ	1・1	1・1	
亜高木層 (T2)	ミズキ	2・2	2・2	
	ミツバウツギ	3・3	3・3	
低木層 (S)	ウツギ	1・1	1・1	
	チョウジザクラ	1・1	1・1	
	サンショウ	1・1	1・1	
	エゾエノキ	1・1	1・1	
	アブラチャン	1・1	1・1	
	エゴノキ	+	+	
	コブシ	+	+	
	イボタンキ	+	+	
	草本層 (H)	ヤマカシユウ	+	+
		フジ	+	+
		ケチヂミザサ	+	+・2
コバノガマズミ		+	+	
アオイスミレ		+	+	
マムシグサ		+	+	
エゾエノキ		+	+	
クマワラビ		+	+	
ウツギ		+	+	
ハエドクソウ		+	+	
ヤマウルシ		+	・	
ナツノハナワラビ		+	+	
アケビ		+	+	
サルトリイバラ		+	+	
フタリシズカ		+	+	
ウマノミツバ		+	+	
ヤマブキ		+	+	
エゴノキ		+	+	
ヤマウグイスカグラ		+	+	
ミズヒキ		+	+	
エノキ		+	+	
ミツバウツギ		+	+	
シオデ		+	+	
ボタンヅル		+	・	
コマユミ		+	+	
アブラチャン		・	+	
ジガバチソウ		・	+	



■出現種数

34

33

表 8. 2-1 (5) アカマツ群落 群落組成調査票

No. 20 アカマツ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	尾根状斜面下部
方位	S15W
傾斜	25°
面積	20×20m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	20	20
	植被率(%)	90	90
亜高木層 (T2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—
低木層 (S)	高さ(m)	4	4
	植被率(%)	1	1
草本層 (H)	高さ(m)	0.4	0.4
	植被率(%)	1	1

■各層の生育種

高木層 (T1)	アカマツ	3・3	3・3
	ヒノキ	3・3	3・3
低木層 (S)	ヒノキ	+	+
	ソヨゴ	+	+
草本層 (H)	コバノガマズミ	+	+
	コアジサイ	+	+
	サルトリイバラ	+	+
	スノキ	+	+
	ヤマウルシ	+	+
	シシガシラ	+	+
	ソヨゴ	+	+
	リョウブ	+	+
	ウリカエデ	+	+
	ホオノキ	+	+
	ヤマカシユウ	+	+
	ヤマツツジ	+	+
	クリ	+	+
	エゴノキ	+	+
	ヘクソカズラ	+	+
	コシアブラ	+	+
ツタ	・	+	

■出現種数

18 19



表 8.2-1(6) ハリエンジュ群落 群落組成調査票

No. 6 ハリエンジュ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	14

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	10×10m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	6	6.5
	植被率(%)	100	100
亜高木層 (T2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—
低木層 (S)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—
草本層 (H)	高さ(m)	1	1
	植被率(%)	20	20

■各層の生育種

高木層 (T1)	ハリエンジュ	5・5	5・5
草本層 (H)	カキドオシ	1・2	1・2
	オオブタクサ	+・2	+・2
	アマチャヅル	+・2	+・2
	アケビ	+・2	+・2
	イネ科の一種	+・2	+・2
	アブラチャン	+・2	+・2
	クサノオウ	+	1・2
	ヒメジョオン	+	+
	カタバミ	+	・
	ツユクサ	+	+
	ヤブヤブソテツ	+	+
	ヨモギ	+	+
	ハリエンジュ	+	+
	ノイバラ	+	+
	オニドコロ	+	+
	ヨウシュヤマゴボウ	+	+
	コチヂミザサ	+	+・2
	ヒカゲイノコズチ	+	+
	ユウスゲ	+	・
	ヤマブキ	+	+
	エノキ	+	・
	クズ	+	・
	ツルウメモドキ	+	+
オヤブジラミ	+	+	
ヤブカンゾウ	・	2・2	
イヌタデ	・	+	
ゲンノショウコ	・	+	
アレチウリ	・	+	
イヌワラビ	・	+	
タネツケバナ	・	+	

■出現種数

24

26



表 8.2-1(7) モウソウチク群落 群落組成調査票

No. 15 モウソウチク群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	斜面上部
方位	N30E
傾斜	30°
面積	10×10m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	12	12
	植被率(%)	100	100
亜高木層 (T2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—
低木層 (S)	高さ(m)	2	2
	植被率(%)	1	1
草本層 (H)	高さ(m)	0.7	0.7
	植被率(%)	5	3

■各層の生育種

高木層 (T1)	モウソウチク	5・5	5・5
低木層 (S)	ケケンボナシ	+	+
草本層 (H)	ケチヂミザサ	+・2	+・2
	フキ	+・2	+・2
	エゾエノキ	+	+
	キクバドコロ	+	・
	イヌワラビ	+	+
	ノイバラ	+	+
	エノキ	+	・
	ヤマカシユウ	+	+
	シオデ	+	+
	サンショウ	+	+
	スゲ属の一種	+	+
	ムクノキ	+	+
	ハエドクソウ	+	+
	シヤガ	+	+
	ダンコウバイ	+	+
	クマワラビ	+	+
	オニグルミ	+	+
	アマチャヅル	+	+
	アオイスマレ	+	+
	ケケンボナシ	・	+
ヤブカンゾウ	・	+	

■出現種数

21 20



表 8.2-1(8) スギ・ヒノキ植林 群落組成調査票

No. 17 スギ・ヒノキ植林

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	斜面中部
方位	S
傾斜	15°
面積	20×20m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	15	15
	植被率(%)	100	100
亜高木層 (T2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—
低木層 (S)	高さ(m)	3	3
	植被率(%)	40	40
草本層 (H)	高さ(m)	0.7	0.7
	植被率(%)	5	5



■各層の生育種

高木層 (T1)	ヒノキ	5・5	5・5
低木層 (S)	アブラチャン	3・3	3・3
草本層 (H)	アブラチャン	+	+
	ミツバアケビ	+	+
	ハエドクソウ	+	+
	フタリシズカ	+	+
	ミズヒキ	+	+
	アオイスマレ	+	+
	ミツバウツギ	+	+
	マムシグサ	+	+
	エゾエノキ	+	+
	ヤマカシユウ	+	+
	クマワラビ	+	+
	サンショウ	+	+
	ケヤキ	+	・
	ダンコウバイ	+	+
	ツヤナシイノデ	+	+
	イヌワラビ	+	+
	コクサギ	+	+
	キクバドコロ	+	・
	フジ	+	+
	ウマノミツバ	+	+
	マタタビ	+	+
	クジャクシダ	+	+
	ケチヂミザサ	+	+
ソユクサ	+	+	
フユノハナワラビ	・	+	
ハナタデ	・	+	
ヒカゲイノズチ	・	+	
ジガバチソウ	・	+	

■出現種数

25 27

表 8. 2-1(9) カラマツ植林 群落組成調査票

No. 18 カラマツ植林

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	10	14

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	10×10m ²

■各層の高さと植被率

高木層 (T1)	高さ(m)	25	25
	植被率(%)	80	80
亜高木層 (T2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—
低木層 (S)	高さ(m)	4	4
	植被率(%)	100	100
草本層 (H)	高さ(m)	0.3	0.3
	植被率(%)	1	1

■各層の生育種

高木層 (T1)	カラマツ	5・5	5・5
低木層 (S)	アブラチャン	5・5	5・5
	サンショウ	1・1	1・1
	ウツギ	+	+
	ムラサキシキブ	+	+
	コブシ	+	+
	ウメモドキ	・	+
草本層 (H)	ソルウメモドキ	+	+
	クリ	+	+
	イヌワラビ	+	・
	ミツバアケビ	+	+
	ヤワラシダ	+	・
	アマチャヅル	+	・
	クマワラビ	+	+
	ツタ	+	+
	タンナサワフタギ	+	+
	ハエドクソウ	+	+
	ソヨゴ	・	+
	アケビ	・	+
	ツユクサ	・	+
	ミズヒキ	・	+
	シオデ	・	+
	サルトリイバラ	・	+
	エゴノキ	・	+
	フユノハナワラビ	・	+
	マユミ	・	+

■出現種数

16 23



表 8.2-1(10) ツルヨシ群落 群落組成調査票

No. 4 ツルヨシ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	10	14

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	2×4m ²

■各層の高さと植被率

草本1層(H1)	高さ(m)	2.5	2.5
	植被率(%)	100	100
草本2層(H2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—

■各層の生育種

草本1層(H1)	ツルヨシ	5・5	5・5
	オオブタクサ	+	+

■出現種数

2 2



表 8.2-1(11) ヨシ群落 群落組成調査票

No. 11 ヨシ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層(H1)	高さ(m)	2.7	2.7
	植被率(%)	100	100
草本2層(H2)	高さ(m)	0.8	0.8
	植被率(%)	40	30

■各層の生育種

草本1層(H1)	ヨシ	5・5	5・5
草本2層(H2)	クサヨシ	2・2	2・2
	スゲ属の一種	1・2	・
	カキドオシ	+・2	+・2
	セリ	+・2	+・2
	ミゾソバ	+	+
	ツルマメ	+	+
	イボクサ	+	+
	スギナ	+	+
	アオミズ	・	1・2

■出現種数

9 9



表 8.2-1(12) ガマ群落 群落組成調査票

No. 12 ガマ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層(H1)	高さ(m)	2.5	2.5
	植被率(%)	30	25
草本2層(H2)	高さ(m)	1.2	1.2
	植被率(%)	100	100

■各層の生育種

草本1層(H1)	ガマ	3・3	3・3
草本2層(H2)	ヒメシダ	3・3	2・2
	コウヤワラビ	3・3	2・2
	アキノウナギツカミ	2・2	3・3
	ツリフネソウ	2・2	2・2
	カナムグラ	1・2	2・2
	ウシハコベ	+	+
	ヤブマメ	+	+
	ヨモギ	+	・
	カキドオシ	+	・
	アオミズ	+	・
	チゴザサ	・	+・2

■出現種数 11 9



表 8.2-1(13) クログワイ群落 群落組成調査票

No. 5 クログワイ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	10	14

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	2×2m ²

■各層の高さと植被率

草本1層(H1)	高さ(m)	0.6	—
	植被率(%)	100	—
草本2層(H2)	高さ(m)	0.2	—
	植被率(%)	5	—

■各層の生育種

草本1層(H1)	クログワイ	5・5	・
草本2層(H2)	アゼナ	+	・
	ヨナギ	+	・
	ホソバヒメミソハギ	+	・
	キカシグサ	+	・
	オモダカ	+	・
	ミゾカクシ	+	・
	ウキクサ	+	・
	イヌタデ	+	・
	ホタルイ	+	・

■出現種数 10 0



※秋季は、除草、火入れが行われ、植生が消失していた。

表 8.2-1 (14) クズ群落 群落組成調査票

No. 13 クズ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	斜面中部
方位	N15E
傾斜	40°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層 (H1)	高さ(m)	1.5	1.5
	植被率(%)	100	100
草本2層 (H2)	高さ(m)	—	—
	植被率(%)	—	—

■各層の生育種

草本1層 (H1)	クズ	5・5	5・5
	コクサギ	2・2	2・2
	アレチウリ	1・2	3・3
	カナムグラ	+・2	+・2
	ノブドウ	+	+
	アカネ	+	・
	オオブタクサ	+	・

■出現種数 7 5



表 8.2-1 (15) カワラヨモギ群落 群落組成調査票

No. 3 カワラヨモギ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	10	14

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層 (H1)	高さ(m)	0.8	0.9
	植被率(%)	25	30
草本2層 (H2)	高さ(m)	0.3	0.3
	植被率(%)	10	10

■各層の生育種

草本1層 (H1)	カワラヨモギ	2・2	3・3
	ススキ	+	+
	ヒメジョオン	+	・
草本2層 (H2)	カワラヨモギ	1・1	1・2
	ヤハズソウ	+	+
	メマツヨイグサ	+	+
	ビロードモウズイカ	+	+
	カラメドハギ	+	+
	ツルヨシ	+	+

■出現種数 8 7



表 8.2-1(16) オギ群落 群落組成調査票

No. 8 オギ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層(H1)	高さ(m)	3	3.2
	植被率(%)	100	100
草本2層(H2)	高さ(m)	1	—
	植被率(%)	1	—

■各層の生育種

草本1層(H1)	オギ	5・5	5・5
	ツルヨシ	+	+
	クズ	・	1・2
	カナムグラ	・	+・2
草本2層(H2)	オオブタクサ	+	・

■出現種数

3 4



表 8.2-1(17) ススキ群落 群落組成調査票

No. 2 ススキ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	10	14

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層(H1)	高さ(m)	2	3
	植被率(%)	100	100
草本2層(H2)	高さ(m)	0.7	0.8
	植被率(%)	1	1

■各層の生育種

草本1層(H1)	ススキ	5・5	5・5
	クズ	1・1	1・2
	ハリエンジュ	+	1・1
	ヌルデ	+	+
草本2層(H2)	ノイバラ	+	+
	ヌドハギ	+	+
	ヒメジョオン	+	+
	イヌドクサ	+	・
	ヤハズエンドウ	・	+

■出現種数

8 8



表 8.2-1 (18) ヒメジョオン群落 群落組成調査票

No. 10 ヒメジョオン群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層 (H1)	高さ(m)	1.5	1.5
	植被率(%)	90	80
草本2層 (H2)	高さ(m)	0.4	0.4
	植被率(%)	10	40

■各層の生育種

草本1層 (H1)	ヒメジョオン	4・4	3・3
	ヒメムカシヨモギ	3・3	3・3
	メマツヨイグサ	1・2	1・2
	アレチウリ	・	+
草本2層 (H2)	ヒメジョオン	1・2	2・2
	ウシハコベ	+	2・2
	ヤハズエンドウ	+	+
	ツユクサ	+	+
	エノキグサ	+	+
	ガガイモ	+	+
	メマツヨイグサ	・	+

■出現種数

8 10



表 8.2-1 (19) オオブタクサ群落 群落組成調査票

No. 9 オオブタクサ群落

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	3×3m ²

■各層の高さと植被率

草本1層 (H1)	高さ(m)	1.5	1.8
	植被率(%)	100	80
草本2層 (H2)	高さ(m)	0.7	0.7
	植被率(%)	60	60

■各層の生育種

草本1層 (H1)	オオブタクサ	5・5	5・5
	ヒメジョオン	1・1	・
	クズ	+	1・2
草本2層 (H2)	セリ	3・3	3・3
	ヒメジソ	1・2	2・2
	ツユクサ	1・2	1・2
	ゲンノショウコ	+	+
	ガガイモ	+	+
	カナムグラ	+	+
	ヨモギ	+	+
	カタバミ	+	+
	ムラサキツメクサ	+	+
	タカサブロウ	+	・
	キンエノコロ	・	+
イスタデ	・	+	

■出現種数

13 12



表 8. 2-1 (20) ウシノシッペイ群落 群落組成調査票

No. 7 人工草地(ウシノシッペイ群落)

調査季節		夏	秋
調査日	年	2011	2011
	月	8	10
	日	9	13

■コドラートの諸元

地形	平地
方位	—
傾斜	0°
面積	2×2m ²

■各層の高さと植被率

草本1層(H1)	高さ(m)	0.6	—
	植被率(%)	30	—
草本2層(H2)	高さ(m)	0.3	0.1
	植被率(%)	100	5

■各層の生育種

草本1層(H1)	ウシノシッペイ	3・3	・
草本2層(H2)	イネ科の一種	5・5	・
	ヨモギ	1・2	+
	ツユクサ	+・2	・
	ヒメジョオン	+	+
	オオニシキソウ	+	・
	スギナ	+	・
	イヌタデ	+	・
	カヤツリグサ	+	・
	エノキグサ	・	+
	ゲンノショウコ	・	+
	キンエノコロ	・	+

■出現種数 9 5

※秋季は、除草され、植生がわずかに残存するだけであった。



8.3 鳥類調査方法別調査結果

8.3.1 ラインセンサス法

ラインセンサス調査結果を表 8.3-1～表 8.3-5 に示す。

表 8.3-1 ラインセンサス調査結果（夏季）

No.	調査ルート	R-1				R-2				R-3						
	調査日	平成23年8月8日				平成23年8月8日				平成23年8月8日						
	天候	晴時々曇				晴れ				晴れ						
	ルート長・調査面積	1,010m		5.0ha		540m		2.7ha		1,570m		7.4ha				
調査時間(開始～終了)	5:35～6:13				6:20～6:35				6:55～7:35							
種名 (★:重要種)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	
	<50m	>50m				<50m	>50m				<50m	>50m				
1	ダイサギ											1				
2	アオサギ											1				
3	トビ											1	0.1	0.1	2.8	
4	★ノスリ															
5	コジュケイ															
6	キジ															
7	ドバト															
8	キジバト	1		0.1	0.2	3.2						2	0.1	0.3	5.6	
9	コガラ	2		0.2	0.4	6.5										
10	ツバメ						4	0.7	1.5	33.3		6	0.4	0.8	16.7	
11	イワツバメ											4	0.3	0.5	11.1	
12	キセキレイ	1		0.1	0.2	3.2	1	0.2	0.4	8.3		2	0.1	0.3	5.6	
13	セグロセキレイ						1	0.2	0.4	8.3		3	1	0.2	0.4	8.3
14	ヒヨドリ	7		0.7	1.4	22.6										
15	モズ															
16	★サンコウチョウ	1		0.1	0.2	3.2										
17	エナガ	7		0.7	1.4	22.6										
18	ヤマガラ	2		0.2	0.4	6.5										
19	シジュウカラ	2		0.2	0.4	6.5						3	0.2	0.4	8.3	
20	ホオジロ	3		0.3	0.6	9.7	1	0.2	0.4	8.3		3	0.2	0.4	8.3	
21	カワラヒワ	4		0.4	0.8	12.9										
22	スズメ						4	0.7	1.5	33.3		12	0.8	1.6	33.3	
23	ハンボンガラス	1		0.1	0.2	3.2	1	0.2	0.4	8.3						
	合計	31	0	3.1	6.2	100	12	0	2.2	2.7	100	36	3	2.3	4.8	100
	出現種数	11				6				11						

注1) <50m:ラインセンサスルートより50m以内の位置での確認を意味する。
>50m:ラインセンサスルートより50mより遠い位置での確認を意味する。

表 8.3-2 ラインセンサス調査結果（秋季）

No.	調査ルート		R-1				R-2				R-3					
	調査日		平成23年10月13日				平成23年10月13日				平成23年10月13日					
	天候		曇後晴				晴				晴					
	ルート長・調査面積		1,010m		5.0ha		540m		2.7ha		1,570m		7.4ha			
調査時間(開始～終了)		6:40～7:30				7:40～7:55				8:10～8:45						
種名 (★:重要種)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	
	<50m	>50m				<50m	>50m				<50m	>50m				
1	カワウ															
2	トビ															
3	キジバト	3		0.3	0.6	8.1					1		0.1	0.1	2.4	
4	カワセミ															
5	アオゲラ															
6	コゲラ	1		0.1	0.2	2.7										
7	キセキレイ										1		0.1	0.1	2.4	
8	ハクセキレイ															
9	セグロセキレイ										2		0.1	0.3	4.8	
10	ヒヨドリ	5	1	0.5	1.0	13.5	2	0.4	0.7	20.0						
11	モズ	1		0.1	0.2	2.7	1	0.2	0.4	10.0	2		0.1	0.3	4.8	
12	ヤブサメ															
13	ウグイス															
14	エナガ	11		1.1	2.2	29.7										
15	ヤマガラ	3		0.3	0.6	8.1										
16	シジュウカラ	8		0.8	1.6	21.6										
17	メジロ	2		0.2	0.4	5.4										
18	ホオジロ	1		0.1	0.2	2.7					2		0.1	0.3	4.8	
19	カワラヒワ										17		1.1	2.3	40.5	
20	イカル	2		0.2	0.4	5.4										
21	スズメ						5	0.9	1.9	50.0	14		0.9	1.9	33.3	
22	カケス															
23	ハンボンソガラス						2	0.4	0.7	20.0	3		0.2	0.4	7.1	
合計		37	1	3.7	7.4	100	10	0	0.0	1.9	100	42	0	2.7	5.7	100
出現種数(種)				10			4				8					

注) <50m:ラインセンサスルートより50m以内の位置での確認を意味する。

>50m:ラインセンサスルートより50mより遠い位置での確認を意味する。

表 8.3-3 ラインセンサス調査結果（冬季）

No.	調査ルート		R-1				R-2				R-3					
	調査日		平成24年1月30日				平成24年1月31日				平成24年1月31日					
	天候		晴				晴				晴					
	ルート長・調査面積		1,010m		5.0ha		540m		2.7ha		1,570m		7.4ha			
調査時間(開始～終了)		7:45～8:28				8:45～9:05				9:15～9:57						
種名 (★:重要種)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	
	<50m	>50m				<50m	>50m				<50m	>50m				
1	カワウ											1				
2	カワアイサ										3		0.2	0.4	3.8	
3	トビ															
4	★ノスリ															
5	キジ															
6	キジバト	1		0.1	0.2	2.2										
7	アカゲラ										1		0.1	0.1	1.3	
8	コゲラ	1		0.1	0.2	2.2										
9	セグロセキレイ										2		0.1	0.3	2.5	
10	ヒヨドリ	5		0.5	1.0	10.9	2	0.4	0.7	6.9	4		0.3	0.5	5.1	
11	モズ						1	0.2	0.4	3.4	2		0.1	0.3	2.5	
12	ルリビタキ	2		0.2	0.4	4.3					1		0.1	0.1	1.3	
13	シロハラ	1		0.1	0.2	2.2										
14	ツグミ	1		0.1	0.2	2.2	1	0.2	0.4	3.4						
15	エナガ	7		0.7	1.4	15.2										
16	コガラ	2		0.2	0.4	4.3										
17	ヤマガラ	2		0.2	0.4	4.3										
18	シジュウカラ	4		0.4	0.8	8.7	2	0.4	0.7	6.9	2		0.1	0.3	2.5	
19	ホオジロ	1		0.1	0.2	2.2	11	2.0	4.1	37.9	18		1.1	2.4	22.8	
20	カンラダカ						8	1.5	3.0	27.6	18		1.1	2.4	22.8	
21	アオジ										2		0.1	0.3	2.5	
22	カワラヒワ	1		0.1	0.2	2.2	2	0.4	0.7	6.9	24		1.5	3.2	30.4	
23	イカル	14		1.4	2.8	30.4										
24	シメ										1		0.1	0.1	1.3	
25	カケス	4		0.4	0.8	8.7										
26	ハンボンソガラス						2	0.4	0.7	6.9	1		0.1	0.1	1.3	
合計		46	0	4.6	9.2	100	29	0	5.4	10.7	100	79	1	5.0	10.7	100
出現種数				14			8				14					

注) <50m:ラインセンサスルートより50m以内の位置での確認を意味する。

>50m:ラインセンサスルートより50mより遠い位置での確認を意味する。

表 8.3-4 ラインセンサス調査結果（春季）

No.	調査ルート	R-1				R-2				R-3						
	調査日	平成24年4月16日				平成24年4月16日				平成24年4月16日						
	天候	晴				晴				晴						
	ルート長・調査面積	1,010m		5.0ha		540m		2.7ha		1,570m		7.4ha				
	8:33~9:15				9:20~9:35				9:40~10:28							
種名 (★:重要種)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	
	<50m	>50m				<50m	>50m				<50m	>50m				
1	カワウ										2					
2	ダイサギ										1	0.1		0.3	3.8	
3	アオサギ										1	0.1		0.1	1.9	
4	トビ					1	0.2	0.4	10.0							
5	★オオタカ	1		0.1	0.2	1.8										
6	★ノスリ															
7	キジ						1				1	1	0.1	0.1	1.9	
8	キジハト	2		0.2	0.4	3.6										
9	アマツハメ										2		0.1	0.3	3.8	
10	コゲラ	1		0.1	0.2	1.8										
11	イワツバメ										23		1.5	3.1	43.4	
12	セグロセキレイ						1	0.2	0.4	10.0						
13	★サンショウクイ	2		0.2	0.4	3.6										
14	ヒヨドリ	4		0.4	0.8	7.1										
15	モズ						1	0.2	0.4	10.0	1		0.1	0.1	1.9	
16	アカハラ	3		0.3	0.6	5.4										
17	ツグミ										3		0.2	0.4	5.7	
18	ヤブサメ	2		0.2	0.4	3.6										
19	ウグイス	2		0.2	0.4	3.6					1		0.1	0.1	1.9	
20	エナガ	18		1.8	3.6	32.1					2		0.1	0.3	3.8	
21	ヤマガラ	2		0.2	0.4	3.6										
22	シジュウカラ	5		0.5	1.0	8.9					1		0.1	0.1	1.9	
23	メジロ	4		0.4	0.8	7.1										
24	ホオジロ	2		0.2	0.4	3.6		1			5		0.3	0.7	9.4	
25	カシラダカ										3		0.2	0.4	5.7	
26	カワラヒワ	4		0.4	0.8	7.1	1	0.2	0.4	10.0	2		0.1	0.3	3.8	
27	イカル	2		0.2	0.4	3.6										
28	スズメ						6	1.1	2.2	60.0	4		0.3	0.5	7.5	
29	カケス	1		0.1	0.2	1.8										
30	ハンボンガラス	1		0.1	0.2	1.8	2				2		0.1	0.3	3.8	
	合計	56	0	5.5	11.2	100	10	4	1.9	3.7	100	53	4	3.4	7.2	100
	出現種数(種)	17				8				16						

注) <50m:ラインセンサスルートより50m以内の位置での確認を意味する。
 >50m:ラインセンサスルートより50mより遠い位置での確認を意味する。

表 8.3-5 ラインセンス調査結果（繁殖期）

No.	調査ルート	R-1				R-2				R-3						
	調査日	平成24年5月17日				平成24年5月17日				平成24年5月17日						
	天候	晴				晴				晴						
	ルート長・調査面積	1,010m		5.0ha		540m		2.7ha		1,570m		7.4ha				
調査時間(開始～終了)	5:10～6:00				6:05～6:22				6:30～7:12							
種名 (★:重要種)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	個体数(羽)		相対的 出現頻度 (羽)	個体群密度 (羽)	優占度 (%)	
	<50m	>50m				<50m	>50m				<50m	>50m				
1	カワウ										2		0.1	0.3	2.9	
2	ダイサギ										1		0.1	0.1	1.4	
3	アオサギ															
4	カルガモ					4	0.7	1.5	50.0		2		0.1	0.3	2.9	
5	トビ	1		0.1	0.2	2.5	1	0.2	0.4	12.5						
6	★ハチクマ															
7	★ノスリ															
8	★チョウゲンボウ															
9	キジ										2		0.1	0.3	2.9	
10	★イカルチドリ															
11	ドンソト										2		0.1	0.3	2.9	
12	キジノト	2		0.2	0.4	5.0					2		0.1	0.3	2.9	
13	アマツバメ															
14	コガラ	2		0.2	0.4	5.0										
15	ツバメ						2	0.4	0.7	25.0	8		0.5	1.1	11.6	
16	イワツバメ										28		1.8	3.8	40.6	
17	キセキレイ										1		0.1	0.1	1.4	
18	セグロセキレイ										1		0.1	0.1	1.4	
19	ヒヨドリ	4	2	0.4	0.8	10.0					3		0.2	0.4	4.3	
20	モズ										1		0.1	0.1	1.4	
21	ウグイス	1		0.1	0.2	2.5					1		0.1	0.1	1.4	
22	センダイムシクイ	2		0.2	0.4	5.0										
23	キビタキ	2		0.2	0.4	5.0										
24	★サンコウチョウ	2		0.2	0.4	5.0										
25	エナガ	4		0.4	0.8	10.0										
26	ヤマガラ	4		0.4	0.8	10.0										
27	シジュウカラ	4		0.4	0.8	10.0										
28	メジロ	4		0.4	0.8	10.0										
29	ホオジロ	1		0.1	0.2	2.5					6		0.4	0.8	8.7	
30	カワラヒワ	3		0.3	0.6	7.5	1	0.2	0.4	12.5						
31	イカル	1		0.1	0.2	2.5										
32	スズメ										4		0.3	0.5	5.8	
33	ムクドリ										2		0.1	0.3	2.9	
34	カケス	1		0.1	0.2	2.5										
35	ハシボソガラス	2		0.2	0.4	5.0					3	2	0.2	0.4	4.3	
合計		40	2	4.0	8.0	100	8	0	1.5	3.0	100	69	2	4.4	9.3	100
出現種数(種)		17				4				17						

注) <50m:ラインセンスルートより50m以内の位置での確認を意味する。
>50m:ラインセンスルートより50mより遠い位置での確認を意味する。

8.3.2 ポイントセンサス法

ポイントセンサス調査結果を表 8.3-6(1)～(2)に示す。

表 8.3-6(1) ポイントセンサス調査結果一覧表

調査ルート		T-1	
No.	調査日	調査環境	調査時間(開始～終了)
和名		優占度(%)	
個体数(羽)		優占度(%)	
1	ダイサギ	1	6.3
2	アオサギ	1	6.3
3	トビ	1	6.3
4	★ノスリ		
5	コジュケイ		
6	キジ	1	6.3
7	ドバト		
8	キジノト		
9	コガラ		
10	ツルハメ		
11	イワツバメ		
12	キセキレイ		
13	セグロセキレイ	1	6.3
14	ヒヨドリ	2	12.5
15	モズ		
16	★サンコウチョウ		
17	エナガ		
18	ヤマガラ		
19	シジュウカラ		
20	ホオジロ	2	12.5
21	カワラヒワ		
22	スズメ	5	31.3
23	ハシソノガラス	2	12.5
合計		16	100.0
出現種数		9	

注) ★:重要種
 :第一優占種
 :第二優占種
 :第三優占種

調査ルート		T-1	
No.	調査日	調査環境	調査時間(開始～終了)
和名		優占度(%)	
個体数(羽)		優占度(%)	
1	カワウ		
2	トビ		
3	キジノト		
4	カワセミ		
5	アオゲラ		
6	コガラ		
7	キセキレイ	2	14.3
8	ハクセキレイ		
9	セグロセキレイ		
10	ヒヨドリ		
11	モズ	1	7.1
12	ウグイス	1	7.1
13	エナガ		
14	ヤマガラ		
15	シジュウカラ	2	14.3
16	メジロ		
17	ホオジロ		
18	カワラヒワ	6	42.9
19	イカル		
20	スズメ		
21	カケス		
22	ハシソノガラス	2	14.3
合計		14	100.0
出現種数		6	

注) ★:重要種
 :第一優占種
 :第二優占種
 :第三優占種

調査ルート		T-1	
No.	調査日	調査環境	調査時間(開始～終了)
和名		優占度(%)	
個体数(羽)		優占度(%)	
1	カワウ		
2	カワアイサ		
3	トビ	1	1.9
4	★ノスリ	2	3.8
5	キジ	2	3.8
6	キジノト	1	1.9
7	アカガラ		
8	コガラ		
9	セグロセキレイ	2	3.8
10	ヒヨドリ	2	3.8
11	モズ	1	1.9
12	ルリヒタキ		
13	シロハラ		
14	ツグミ		
15	エナガ		
16	コガラ		
17	ヤマガラ		
18	シジュウカラ		
19	ホオジロ	20	38.5
20	カシラダカ	13	25.0
21	アオジ		
22	カワラヒワ	6	11.5
23	イカル		
24	シメ	1	1.9
25	カケス		
26	ハシソノガラス	1	1.9
合計		52	100.0
出現種数		12	

注) ★:重要種
 :第一優占種
 :第二優占種
 :第三優占種

表 8.3-3-6 (2) ポイントセンサス調査結果一覧表

No.	調査ルート		T-1		T-1		T-1	
	調査日	調査環境	調査時間(開始～終了)	和名	個体数(羽)	優占度(%)	個体数(羽)	優占度(%)
1	カワウ		10:00～11:00	水田環境・河川環境	2	4.4		
2	ダイサギ				1	2.2		
3	アオサギ				2	4.4		
4	トビ							
5	★オオタカ							
6	★ノスリ				1	2.2	1	100.0
7	キジ							
8	★チョウゲンボウ							
9	キジ				2	4.4		
10	★イカルチドリ				2	4.4		
11	▲ドバト							
12	キジバト				1	2.2		
13	アマツバメ				9	20.0		
14	コガラ							
15	ツバメ				4	8.9		
16	イワツバメ				12	26.7		
17	キセキレイ				1	2.2		
18	セグロセキレイ				3	6.7		
19	ヒヨドリ				2	4.4		
20	モズ				1	2.2		
21	ウグイス				1	2.2		
22	センダイムシクイ							
23	キビタキ							
24	★サコウチヨウ							
25	エナガ							
26	ヤマガラ							
27	シジュウカラ							
28	メジロ							
29	ホオジロ				1	2.2		
30	カワラヒワ							
31	イカル							
32	スズメ							
33	ムクドリ							
34	カケス							
35	ハンソウガラス							
合計					45	100.0	1	100.0
出現種数					16		1	
							5	100.0
							3	

注) ★:重要種
 :第一優占種
 :第二優占種
 :第三優占種

No.	調査ルート		T-1	
	調査日	調査環境	調査時間(開始～終了)	優占度(%)
1	カワウ		10:40～11:40	
2	ダイサギ			
3	アオサギ			
4	トビ			11.1
5	★オオタカ			
6	★ノスリ			11.1
7	キジ			
8	キジバト			
9	アマツバメ			
10	コガラ			
11	イワツバメ			
12	セグロセキレイ			
13	★サンショウウグイ			
14	ヒヨドリ			
15	モズ			
16	アカハラ			
17	ツグミ			22.2
18	ヤブサメ			
19	ウグイス			
20	エナガ			
21	ヤマガラ			
22	シジュウカラ			11.1
23	メジロ			
24	ホオジロ			11.1
25	カシラダカ			
26	カワラヒワ			
27	イカル			
28	スズメ			
29	カケス			
30	ハンソウガラス			33.3
合計				100.0
出現種数				6

注) ★:重要種
 :第一優占種
 :第二優占種
 :第三優占種

8.4 昆虫類調査方法別調査結果

8.4.1 ライトトラップ法

ライトトラップ調査では12目83科321種が確認された。

地点別、季節別の種数を図8.4-1及び図8.4-2に示し、地点別、季節別の個体数を図8.4-3及び図8.4-4に示す。また、確認種のリストを表8.4-1(1)～(5)に示す。

地点別では想定対象事業実施区域内のSt.1より、樹林内のSt.3、St.4の方がやや種数が多い。季節別では夏季が最も多く、秋季、初夏の順である。St.1における手法別では、カーテン法の種数がやや多くなっているが、図8.4-3に示すとおり、種の構成を見ると両手法で確認した共通の種よりそれぞれの手法で確認した種の方が多く、手法によって確認した種が異なっている。これは、より明るい光源を使用して遠方の昆虫類を集めるカーテン法と、光源がやや弱いながらも一晩中灯しているボックス法のそれぞれの特性を反映した結果と考えられる。

地点別の確認種を見ると、St.1ではオンブバッタ、ツマグロヨコバイ、ツトガなどの草地性の種や、ハラグロコムズムシ、コガムシなどの水生昆虫のほか、ヒメサビキコリ、カワラバッタなどの河原に生息する種が確認されており、St.3とSt.4ではクロシデムシ、コクワガタ、ノコギリカミキリ、ウンモンズズメ、キシタバなどの森林性の種が多く、それぞれの地点の環境を反映した結果となった。なお、樹林相が異なるSt.3とSt.4では大差は見られなかった。

目別の確認種では、コウチュウ目とチョウ目が多く、この2目で8割以上を占めている。

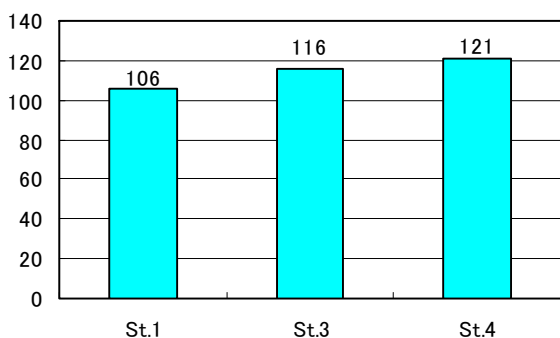


図8.4-1 地点別の種数（ボックス法）

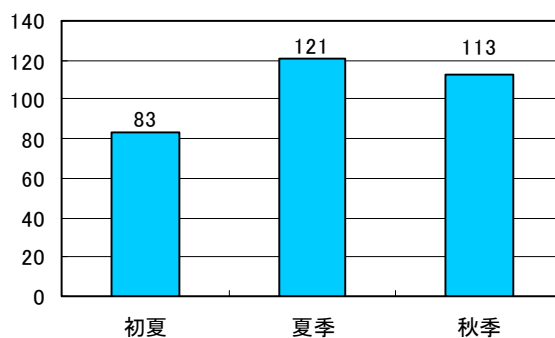


図8.4-2 季節別の種数（ボックス法）

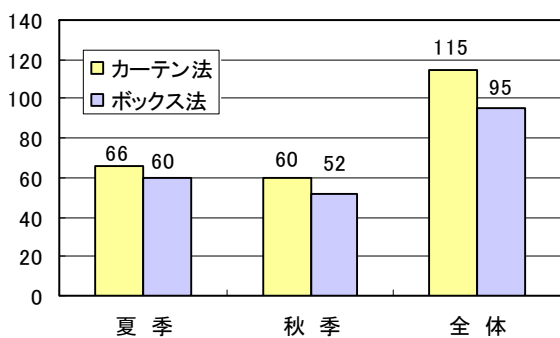


図8.4-3 調査手法別の種数（St.1）

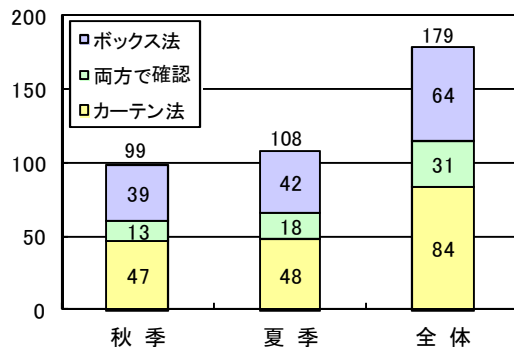


図8.4-4 調査手法別の比較（St.1）

表 8.4-1(1) ライトトラップ調査確認種リスト

No.	目名	科名	種名	初夏			夏季				秋季			
				St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4
1	カゲロウ	フタオカゲロウ	フタオカゲロウ科の一種					○					○	
2		コカゲロウ	コカゲロウ科の一種									○		
3	トンボ	アオイトトンボ	オツネイトンボ									○		
4		トンボ	ノシメトンボ									○		
5	カワゲラ	ミドリカワゲラ	ミドリカワゲラ科の一種						○	○				
6	バッタ	キリギリス	オナガササキリ									○		
7		コオロギ	ハラオカメコオロギ									○		
8		オンブバッタ	オンブバッタ									○		
9		バッタ	コバネイナゴ									○		
10			ショウリョウバッタ									○		
11			カワラバッタ				○							
12			クルマバッタモドキ				○					○		
13	ハサミムシ	クロハサミムシ	ミジンハサミムシ										○	
14		クギヌキハサミムシ	エゾハサミムシ				○							
15	カメムシ	セミ	アブラゼミ				○							
16			ミンミンゼミ											○
17			ヒグラシ				○		○					
18		コガシラアワフキ	コガシラアワフキ						○					
19		アワフキムシ	モンキアワフキ									○	○	
20		シダヨコバイ	シダヨコバイ										○	
21		ヒラタヨコバイ	クロサジヨコバイ										○	
22		オオヨコバイ	オオヨコバイ									○		
23		ヒメヨコバイ	ミドリヒメヨコバイ										○	
24		ヨコバイ	ツマゴロヨコバイ					○		○				
25			ヨコバイ科の一種										○	
26		ミズムシ	ハラグロミズムシ				○							
27	カスミカメムシ	フタモンアカカスミカメ											○	
28			イネホソドリカスミカメ					○						
29		マキバサシガメ	アカマキバサシガメ	○										
30		ナガカメムシ	ヒラタヒョウタンナガカメムシ										○	
31			キバヒョウタンナガカメムシ					○						
32		ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ					○						
33		カメムシ	アオクサカメムシ				○							
34			ツノアオカメムシ						○					
35		ツノカメムシ	ベニモンツノカメムシ									○		
36	アミメカゲロウ	ヘビトンボ	ヘビトンボ				○	○						
37			ヤマトク羅斯ジヘビトンボ			○								
38	コウチュウ	オサムシ	ホソチビヒョウタンゴムシ										○	
39			アトモンミズギワゴムシ										○	
40			ウスイロミズギワゴムシ					○					○	
41			ヒラタミズギワゴムシ					○					○	
42			ヨツモンミズギワゴムシ					○					○	
43			クロモリヒラタゴムシ										○	○
44			オオアオモリヒラタゴムシ				○							○
45			オオヒラタゴムシ									○	○	○
46			クロツヤヒラタゴムシ				○							
47			ヒメゴムシ					○						
48			ニセケゴモクムシ					○						
49			ウスアカクロゴモクムシ					○						
50			コゴモクムシ					○						
51			オオイクビツヤゴモクムシ						○					
52			キイロチビゴモクムシ	○										
53			キバリゴモクムシ	○			○	○						
54			キバリチビゴモクムシ	○										
55			ミドリマゴモクムシ					○						
56			オオアトボシアオゴムシ											○
57			アトボシアオゴムシ			○								
58			トックリゴムシ									○		
59			カドツブゴムシ				○							
60			ダイミョウツブゴムシ	○			○							
61			ホソアトキリゴムシ							○				
62			アトグロジュウジアトキリゴムシ											○
63			ミツアナアトキリゴムシ											○
64		コガシラミズムシ	コガシラミズムシ										○	
65	ゲンゴロウ	チビゲンゴロウ						○						
66		ケンゲンゴロウ										○		
67		ヒメゲンゴロウ					○				○	○	○	
68		ロシマゲンゴロウ					○				○	○	○	
69		ガムシ	ウスモンケンシガムシ	○								○		
70			キバネケンシガムシ					○						
71			セマルケンシガムシ					○				○		
72			キバリヒラタガムシ				○	○			○	○		○
73			シジミガムシ					○				○		
74			コガムシ				○	○			○	○		
75			ガムシ				○				○		○	
76			ヤマトゴマフガムシ				○					○		

表 8.4-1(2) ライトトラップ調査確認種リスト

No.	目名	科名	種名	初夏			夏季				秋季			
				St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4
77	コウチュウ	ガムシ	トゲバゴマフガムシ	○				○				○		
78			ゴマフガムシ							○		○		
79		シデムシ	クロシデムシ		○						○			
80			ヨツボシモンシデムシ										○	○
81			オオモモブトシデムシ								○			
82		ハネカクシ	ユミセミゾハネカクシ									○		
83			ヒラタホソコガシラハネカクシ						○					
84			ツマグロアカバハネカクシ							○				
85			シロヒゲアリノスハネカクシ									○		
86		マルハナノミダマシ	ツマアカマルハナノミダマシ						○					
87	マルハナノミ	イシハラチビマルハナノミ										○		
88		トビイロマルハナノミ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
89	クワガタムシ	コクワガタ		○	○									
90		スジクワガタ			○									
91		アカアシクワガタ			○									
92		ノコギリクワガタ		○	○									
93		コガネムシ	カドマルエンマコガネ	○		○			○			○	○	
94	ナガチャコガネ										○			
95	オオクロコガネ		○		○									
96	コフキコガネ								○					
97	コヒゲシマピロウドコガネ										○		○	
98	アカピロウドコガネ								○					
99	マルガタピロウドコガネ										○		○	
100	Maladera属の一種										○			
101	コイチャコガネ		○						○				○	
102	ドウガネブイブイ		○					○	○					
103	サクラコガネ							○	○		○			○
104	ヒメコガネ							○	○	○	○			
105	オオスジコガネ							○						
106	ヒメスジコガネ										○			
107	スジコガネ										○			
108	カブトムシ										○	○		
109	ナガハナノミ		エダヒゲナガハナノミ			○								
110		クリイロヒゲナガハナノミ								○				
111	ヒラタドロムシ	ヒラタドロムシ	○											
112	チビドロムシ	チビドロムシ										○		
113	コメツキムシ	ヒゲコメツキ			○									
114		サビキコリ			○	○					○			
115		ヒメサビキコリ						○	○					
116		オオサビコメツキ			○									
117		アカヒゲヒラタコメツキ			○	○								
118		オオツヤハダコメツキ						○		○				○
119		アカアシクロコメツキ								○				
120		ケブカクロコメツキ										○		○
121		キバネホソコメツキ				○								
122		オオナガコメツキ									○	○		
123		コフトナガコメツキ									○	○		
124		クロツヤクシコメツキ				○								
125		アカアシオオクシコメツキ			○	○			○					
126		ジョウカイモドキ	ヒメジョウカイモドキ		○									
127	ケシキスイ	カクアシヒラタケシキスイ											○	
128		マヒラタケシキスイ										○		
129		アカマダラケシキスイ									○			○
130		ウスグロキバケシキスイ												○
131		ヨツボシケシキスイ											○	
132		ツツオニケシキスイ			○									
133	キシムシ	ケナガセマルキシムシ										○		
134	オオキノコムシ	カタモンオオキノコ								○			○	
135		カタアカチビオオキノコ									○			
136		ヒメオビオオキノコ			○	○			○					
137	テントウムシ	シロジョウシホシテントウ			○									
138		キイロテントウ									○			
139	ヒメマキムシ	ウスキケシマキムシ									○			
140	コキノコムシ	ヒゲブトロキノコムシ									○			
141	ナガクチキムシ	カツオガタナガクチキ		○										
142	カミキリモドキ	アオカミキリモドキ					○	○						
143	クチキムシ	ヒメオオクチキムシ											○	
144		クワイロクチキムシ	○											
145		トビイロクチキムシ								○				
146		クロツヤバネクチキムシ		○										
147	ゴミムシダマシ	モンキゴミムシダマシ			○									
148		ヒゴキノゴミムシダマシ	○											
149		ヨツボゴミムシダマシ						○						
150		エグリゴミムシダマシ									○			
151		コマルキマワリ			○				○	○	○		○	○
152		スジコガシラゴミムシダマシ								○				

表 8.4-1(3) ライトトラップ調査確認種リスト

No.	目名	科名	種名	初夏			夏季			秋季							
				St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4			
153	コウチュウ	カミキリムシ	ウスバカミキリ						○								
154			ノコギリカミキリ				○		○	○							
155			クロカミキリ					○									
156			トガリシロオビサビカミキリ							○							
157		ハムシ	ヒメキバネサルハムシ	○													
158			クロウリハムシ							○							
159		ゾウムシ	エノキハムシ							○							
160			クリシギゾウムシ										○				
161	サルゾウムシ亜科の一種							○									
162	アシナガオニゾウムシ								○								
163	ハチ	コマユバチ	コマユバチ科の一種								○						
164		ヒメバチ	イヒメバチ									○					
165		アリ	ヒメバチ科の一種								○		○				
166			クロオオアリ	○	○	○						○					
167			ムネアカオオアリ											○			
168		クサアリモドキ			○												
169		スズメバチ	クロスズメバチ								○						
170	ハエ	ガガンボ	ミカドガガンボ				○	○									
171			マダラガガンボ							○							
172			ヤチガガンボ	○													
173			ギリウジガガンボ									○					
174			マドガガンボ									○					
175			Tipula属の一種									○		○			
176			ガガンボ科の一種					○	○	○				○			
177		ハナバエ	ハナバエ科の一種					○									
178	トビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	○					○			○		○				
179		チャバネヒゲナガカワトビケラ					○						○				
180		シマトビケラ	シマトビケラ科の一種				○	○	○			○	○	○			
181		トビケラ	ムラサキトビケラ							○			○				
182		エグリトビケラ	Goera属の一種					○	○			○		○			
183			エグリトビケラ									○		○			
184	チョウ	ボクトウガ	オオボクトウ								○						
185			ボクトウガ					○									
186			ハマキガ	ナカジロハマキ					○								
187		コホソジハマキ											○				
188		アカスジキイロハマキ											○				
189		ヨモギネムシガ							○								
190		ニセマメサヤヒメハマキ											○				
191		コケキオビヒメハマキ											○				
192		クローバヒメハマキ											○				
193		ハマキガ科の一種				○	○	○	○	○	○						
194		ホソハマキガ		フタスジキホソハマキ						○							
195		イラガ		ナシイラガ							○	○					
196		メイガ	ツトガ						○								
197			ウスクロスジツトガ											○			
198			ナカモンツトガ										○				
199			クロフタオビツトガ										○	○			
200			ウスムラサキノメイガ			○											
201			シロヒトモンノメイガ								○						
202			ヒメガリノメイガ				○										
203			モンキクロノメイガ					○					○				
204			マメノメイガ										○				
205			ヘリジロキンノメイガ				○										
206			マエベニノメイガ			○											
207			ヒロバウスグロノメイガ					○									
208			クロスジキンノメイガ													○	
209			ホソミスジノメイガ						○								
210			オオキバラノメイガ										○				
211		ウコンノメイガ										○			○		
212		ウスマルモンノメイガ					○										
213		ウラジロキノメイガ					○										
214	ノメイガ亜科の一種			○	○												
215	ギンモンミスメイガ					○											
216	キオビミスメイガ										○						
217	ウスベニトガリメイガ							○			○						
218	トリバガ	トリバガ科の一種						○			○						
219	シジミチョウ	ウラナミシジミ									○						
220	カギバガ	ヤマトシジミ本土亜種					○										
221		ウスイロカギバ												○			
222		ヒメハイロカギバ										○					
223	シヤクガ	アシベニカギバ		○	○									○			
224		キバラヒメアオシヤク		○													
225		シロフアオシヤク						○									
226		オオアヤシヤク			○												
227		ハイイロヒメシヤク										○	○				
228		ウスサカハチヒメシヤク					○										

表 8.4-1(4) ライトトラップ調査確認種リスト

No.	目名	科名	種名	初夏			夏季			秋季				
				St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4	カーテン法	St.1	St.3	St.4
229	チョウ	シヤクガ	コベニスジヒメシヤク							○	○			
230			ホソバトガリナミシヤク					○	○					
231			キマダラオオナミシヤク		○				○	○			○	○
232			ヨスジナミシヤク								○		○	○
233			Abraxas 属の一種			○	○	○	○	○				
234			コケエダシヤク						○					
235			ウスイロオオエダシヤク		○									
236			クロクモエダシヤク							○			○	○
237			ヒョウモンエダシヤク							○	○			
238			ヨモギエダシヤク					○	○	○				
239			シャンハイオエダシヤク						○					
240			マツオエダシヤク		○			○	○	○	○			
241			ツマキリエダシヤク						○					
242			オイワケキエダシヤク										○	○
243			ナカシロオビエダシヤク					○						
244			ウスバミスジエダシヤク					○		○				
245			ハミスジエダシヤク					○						
246			マエキトビエダシヤク					○						
247			ヨツメエダシヤク					○	○		○			
248			ウスキツバメエダシヤク											○
249			コガタツバメエダシヤク		○									
250			オオゴマダラエダシヤク		○									
251			フタデシヤク											○
252			クロハグルマエダシヤク										○	
253			エダシヤク亜科の一種		○	○				○	○			
254	チョウ	カレハガ	マツカレハ		○		○		○	○				
255			ツガカレハ							○	○			
256			タケカレハ							○	○			
257		オビガ											○	
258		ヤママユガ	ヤママユ										○	
259			クスサン							○	○	○	○	
260		スズメガ	ウンモンズメ			○			○	○				
261			トビイロスズメ					○						
262			クロスズメ				○							
263			モモスズメ			○				○	○			
264		クチバスズメ								○				
265		シヤチホコガ	ツマアカシヤチホコ						○	○				
266			ホソバネグロシヤチホコ			○								
267			ツマジロシヤチホコ		○									
268			セダカシヤチホコ							○	○			
269		アオセダカシヤチホコ		○	○				○	○				
270		ドクガ	スカシドクガ								○		○	
271			キドクガ				○							
272			モンシロドクガ		○									
273			マイマイガ				○			○	○			
274			ナンネマイマイ							○	○			
275			ニフトドクガ											○
276		ヒトリガ	キマエクロホソバ		○									
277			アカスジシロケガ				○		○	○				
278			キシタホソバ						○				○	
279			ゴマダラベニコケガ				○							
280			モンクロベニコケガ											○
281			シロヒトリ				○	○			○			
282			アメリカシロヒトリ								○			
283			ベニシタヒトリ											○
284			スジモンヒトリ			○								
285			キハラゴマダラヒトリ		○	○					○			
286		アカハラゴマダラヒトリ				○								
287		ヤガ	マルバネキシタケンモン			○								
288			オオケンモン				○							
289			ゴマケンモン		○									
290			ツメクサガ						○				○	
291			オオアオバヤガ											○
292			ホシボシヤガ								○			
293			カバスジヤガ										○	○
294			シロモンヤガ											○
295			キシタミドリヤガ							○	○			○
296			タンボキヨトウ			○	○							
297			ミヤマフタオビキヨトウ								○			
298			ヨトウガ亜科の一種			○				○	○			
299			ショウブトウ								○			
300			シロスジカラスヨトウ											○
301			イタヤキリガ										○	○
302			ホソバミドリヨトウ											○
303			フタデシヤク					○	○					
304		チャオビヨトウ		○	○									

8.4.2 ベイトトラップ法

ベイトトラップ調査では5目22科82種が確認された。

地点別、季節別の種数を図8.4-5及び図8.4-6に示し、地点別、季節別の個体数を図8.4-7及び図8.4-8に示す。また、確認種のリストを表8.4-2(1)～(2)に示す。

地点別では、種数、個体数ともにSt.3(落葉広葉樹林)が最も多くなっており、ライトトラップ調査では大きな差がなかったSt.4(スギ植林)とは、樹林相の違いによる差が生じた結果となった。設置環境がほぼ同じである想定対象事業実施区域内のSt.1と、最終候補地内のSt.2を見ると、種数ではSt.1の方が多く、個体数ではSt.2が多い結果となった。St.5(河原)は種数、個体数ともにSt.1とSt.2のほぼ中間である。

季節別に見ると、種数は夏季が他の季節よりやや多くなっているが、個体数は秋季が最も多くなっている。

地点別の確認種を見ると、St.1やSt.2では、ハラオカメコオロギ、シバズ、モンシロナガカメムシなどの草地性の種や、ミイデラゴミムシなどの湿地性の種が確認されており、St.5も比較的似た種構成であるが、ヒメサビキコリなどの河原に生息する種も確認された。St.3やSt.4では、ハヤシウマ、クロナガオサムシ、クサアリモドキなどの森林性の種が多く、それぞれの地点の環境を反映した結果となった。

種数ではコウチュウ目のオサムシ科の種が多く、個体数ではハチ目のアズマオオズアリやクロオオアリなどのアリ類が特に多くなっている。

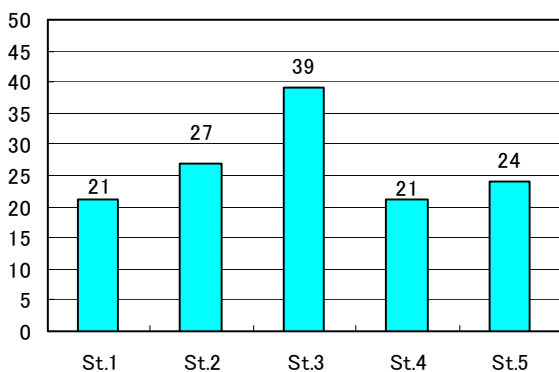


図 8.4-5 地点別の種数

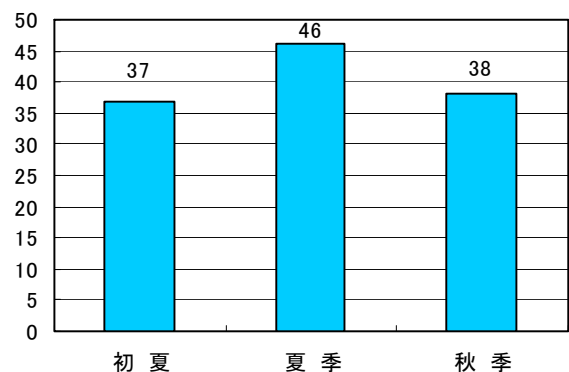


図 8.4-6 季節別の種数

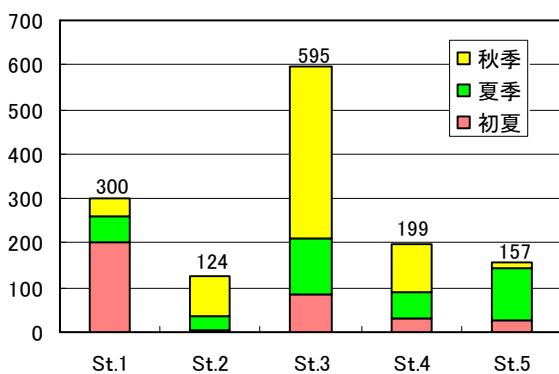


図 8.4-7 地点別の個体数

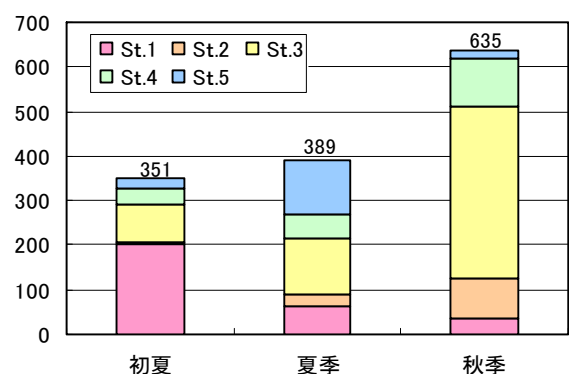


図 8.4-8 季節別の個体数

表 8.4-2(1) バイトトラップ調査確認種リスト

No.	目名	科名	種名	初夏					夏季					秋季						
				St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5		
1	バツタ	カマドワマ	ハヤシウマ			4					6	1				1	7			
2		キリギリス	コバネヒメギス							1										
3		コオロギ	エンマコオロギ						4	4			2					3		
4			ハラオカメコオロギ											2	6			2		
5			ツツレサセコオロギ							3	10			52	1					
6		ヒバリモドキ	シバズ											5	7					
7		ヒシバツタ	コバネヒシバツタ			1					1									
8			ハラヒシバツタ					1												
9	カメムシ	ヒメヨコバイ	ヒメヨコバイ科の一種												1					
10		グンバイムシ	キクグンバイ					1												
11		ナガカメムシ	ヒメナガカメムシ												1					
12			モンシロナガカメムシ							1										
13			コバネヒョウタンナガカメムシ											1						
14		ヘリカメムシ	オオツマキヘリカメムシ									1								
15		ツチカメムシ	ツチカメムシ			2		1												
16	カメムシ	マルシラホシカメムシ											1							
17	コウチュウ	オサムシ	アキタクロナガオサムシ				7													
18			デンリュウオサムシ			2	9				7	5				4				
19			クロナガオサムシ			1	1				1									
20			ベーツナガゴミムシ				1													
21			ヒロムネナガゴミムシ									1								
22			ミヤマクロナガゴミムシ										2							
23			キンナガゴミムシ									1								
24			ヨリトモナガゴミムシ										1	1					3	
25			クロモリヒラタゴミムシ				1													
26			セアカヒラタゴミムシ			1					3			1		7			1	
27			マルガタツヤヒラタゴミムシ				21	1									3	2		
28			キアシツヤヒラタゴミムシ			1														
29			クロツヤヒラタゴミムシ				18	1				2								
30			ヒメツヤヒラタゴミムシ				3													
31			フクハラツヤヒラタゴミムシ													3	1	2		
32			オオクロツヤヒラタゴミムシ													1	16			
33			ブリットンツヤヒラタゴミムシ				1													
34			ナガクロツヤヒラタゴミムシ				2	1												
35			ニセマルガタゴミムシ									1				1				
36			ゴミムシ									1								
37			ヒメケゴモクムシ												1					
38			クロゴモクムシ															1		
39			ヒラタゴモクムシ				1													
40			ニセケゴモクムシ								6	1				1	1			
41			コゴモクムシ							1	1									
42			ウエノツヤゴモクムシ														1			
43			アトボシアオゴミムシ			1	4		3	4				1						
44			アオゴミムシ								3	1								
45			キボシアオゴミムシ								1	1			2					
46			アトリアオゴミムシ												1					
47			ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ			1													
48				ミイデラゴミムシ								21	1			8	1			
49			ハネカクシ	キベリカワバハネカクシ														1		
50				クロズトガリハネカクシ														4		
51				オオアカバハネカクシ				1												
52				キンボシハネカクシ						1				1						
53	サビハネカクシ						1					1								
54	Philonthus属の一種																3			
55	クロガネハネカクシ					1														
56	アカバハネカクシ																1			
57	ハネカクシ亜科の一種																1			
58	クロツヤアリノスハネカクシ																2			
59	センチコガネ	センチコガネ			2	1				1	9	7			4	4				
60	コガネムシ	クロマルエンマコガネ														1				
61		ツヤエンマコガネ			1							1					2			
62		カブトムシ										1								
63	コメツクムシ	サビキコリ								1				2						
64		ヒメサビキコリ												1			2			
65	ゴミムシダマシ	コスナゴミムシダマシ					3	1												
66		スナゴミムシダマシ										2								
67		スジコガシラゴミムシダマシ					1	1	4											
68	カミキリムシ	ノギリカミキリ									1									
69		ビロウドカミキリ											1							

表 8.4-2(2) ベイトトラップ調査確認種リスト

No.	目名	科名	種名	初夏					夏季					秋季											
				St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5							
70	ハチ	ツチバチ	オオハラナガツチバチ															1							
71		アリ	アシナガアリ																				48		
72			キイロシリアゲアリ																				2		
73			アズマオオズアリ										82										52	224	88
74			トビイロシツアリ																				1		
75			クロオオアリ		97				3	16						20	15								5
76			ムネアカオオアリ				14	6						3	7									4	1
77			クロヤマアリ						1			1					29	5							1
78			ハヤシクロヤマアリ				1							5											
79			クサアリモドキ				11																	48	
80			トビイロケアリ		33				6								2								
81			アメイロアリ		68				1															6	16
82	ハエ	イエバエ	イエバエ科の一種						1															2	
合計 5目 22科 82種				個体数	198	0	26	6	12	16	1	90	39	54	20	61	340	89	6						
				種数	6	3	17	12	13	12	14	16	9	15	8	13	21	8	6						
				37					46					38											

注) 種名及び並びは「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅱ」(1996年、環境庁)に準じている。

但し、バツ目目は「バツ目・コオロギ・キリギリス大図鑑」(2006年、日本直翅類学会)に準じ、カメムシ目メクラカメムシ科は、「日本原色カメムシ図鑑 第2巻」(2002年、安永智秀ほか)に準じて、カスミカメムシ科に置換えている。



乳酸菌飲料+焼酎の混合液で採集した昆虫類



さなぎ粉で採集した昆虫類

ベイトトラップ法で採集した昆虫類